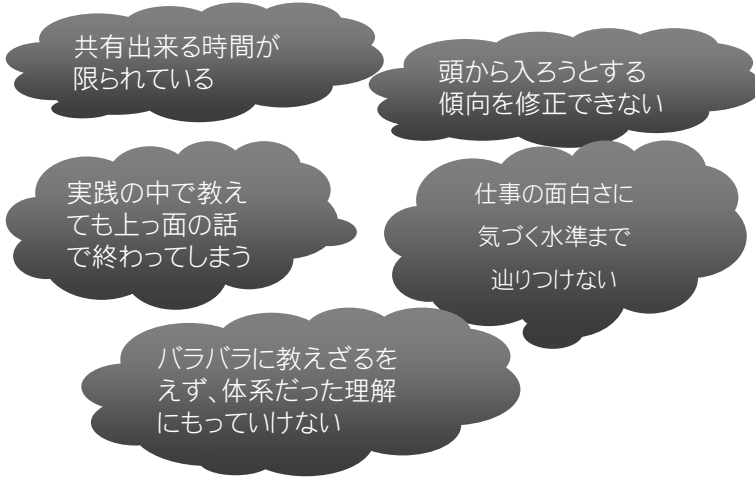


社会や産業の構造が変わり、OJTが周囲との関係に支えられて機能する時代は過去のものとなりました。複雑な文脈下で生きる技や知識を伝えるには、それを担う伝承者のスキルが求められてきています。本研修では、今必要とされている”伝える“側のスキルを学び、実践力を磨きます。伝承者の無意識領域にある『暗黙知』にアクセスすることで、いわゆる”勘所“の表現力を強化します。受講者の課される事は、自ら築き上げてきた”知的資産“の再認識・再定義であり、それはそのまま企業が持つ隠れた資産の”顕在化“となります。個々の存在意義が再確認されるプロセスを通じて、企業ポテンシャルの向上が期待されます。

## 【研修背景】：OJTを巡る現場の問題



## 【研修の特徴】

- 仕事力が形式知と暗黙知から構成されていることを理解する。
- 自分自身の仕事力の形成のメカニズムを理解する。
- 仕事力を伝承するための考え方と方法を学ぶ。

## 【研修の効果】

- 自分自身の仕事を振りかえる事で、自分の価値を再発見することができ、モチベーション向上につながる。
- 現実的に頻繁に行っている仕事の伝承の精度を高め、OJTの機能化につなげることができる。
- 現在の仕事を新たな視点で見直すことで、仕事の効率化につなげることができる。

## 【受講生の声】

- 人に教えることの難しさを理解し、克服する方法を学ぶことができました。
- 業務を伝えることはもちろん、自分の思考やコミュニケーションのとり方など、多くのことが学べるので、誰が受けても役に立つ研修だと思います。
- 業務の勘所がドキュメントになるところがよいと思いました。
- 細分化してポイントをあぶり出す方法が参考になりました。
- 現在の仕事を新たな視点で見直すことで、仕事の効率化につなげることができそうです。

## 【研修のねらい】

仕事を教え・技を伝えるスキル = 「伝承」の基本的な方法を学ぶ

1. 「できる」と「教える」は何が違うのか
2. 「伝承」の基礎知識と準備
3. 暗黙知の多い「勘所」の伝え方

★普通の仕事は“形式知”&“暗黙知”を含む

暗黙知	形式知
主観的な知(個人知)	客観的な知(組織知)
経験知(身体)	理性知(精神)
同時的な知(今ここにある知)	順序的な知(過去の知)
アナログ的な知(実務)	デジタル的な知(理論)

「知識創造企業」野中、竹内(1996) p.89 より

暗黙知は伝えるのが困難。  
にも関わらず業務の重要なポイント = 「勘所」であることが多い。

## 講師プロフィール

依田 真門

Yoda Makoto



早稲田大学工学部(学士)、立教大学大学院 異文化コミュニケーション研究科(修士)卒業。

20年の商社勤務の後独立。製鐵機械、金属加工設備などのプラント輸出に携わり、アジアの国々でライン立ち上げに伴う技術伝承の現場に、若い頃から数多く立ち会う。出身が技術畑である事や、実践的なコミュニケーションに関心があった事から“伝承”の問題を理論と実践の両面で追及してきた。研修では独自の метод論で受講生の学習と気づきを促す。

現在、株式会社オイコスメンターをつとめる。

## 【研修カリキュラム】

時間	1日目:3月22日(木)	時間	2日目:3月23日(金)
9:30	オリエンテーション 自己紹介&「教えた経験」共有 仕事の分解・分類 ・分解例に倣っての参加者個々の仕事分解・分類 聞き方トレーニング ・聞くポイントの説明 私の仕事 分解・と分類 ・ペアワークによる事例交換	9:30	1日目の学びの確認 知識ストックと私の強み再発見 OJT現場における伝承～実践準備からフォローアップまで～ (現状を把握する、目標の確定、準備、関係づくり、動機づくり、成長支援、フォローアップ) OJT一定型業務の伝承方法 ・参加者各自の事例と模擬実践
12:00	昼食	12:00	昼食
13:00	定型業務 教える手順 『暗黙知』とは何か ・形式知と暗黙知の対比、身体的な知について 暗黙知とフィードバックシステム 暗黙知と知識ストック 私の伝承戦略 ・『仕事の勘所』伝承の戦略作り ・伝承の戦略の相互交換 今日の振り返り	13:00	OJT-非定型業務の伝承方法 1. 実践に入る 2. 経験を共に振り返る 3. 気づきを引き出す 4. 新たな知識習得を確認する 5. 次の行動や学習を促す グループワーク/障害の克服(グループワーク) ・「伝承の実践に伴う障害」をどう克服するか 発表 / 2日間のまとめと振り返り
17:30	1日目のまとめと、2日目の概要	17:30	

※カリキュラムは変わることがあります。

## 【研修概要】

- ◆コース名:OJTを機能させる仕事の伝承力公開講座
- ◆主催:株式会社オイコス
- ◆日程:2日間(1日目:9:30~17:30 2日目:9:30~17:30)  
平成24年3月22日(木)・3月23日(金)
- ◆会場:ちよだプラットホームスクエア  
東京都千代田区神田錦町3-21 東京メトロ東西線竹橋駅下車3分
- ◆受講料:1名2日間受講 78,750円(税込み)  
\*1日だけの参加はご遠慮いただいております。
- ◆定員:20名(人数が少ない場合は中止させていただくこともございます)
- ◆対象:人材育成担当者
- ◆お申し込みとお支払い:下記に記入してFAXしていただくか、オイコスのWebサイトより申し込みください。  
お申し込み後、受講票と請求書を送付させていただきます。講座実施3日前までに、当社指定の銀行口座にお振込みください。  
オイコスURL:<http://www.oicos.co.jp/>



3月22日・23日「OJTを機能させる仕事の伝承力公開講座」参加申し込み用紙 FAX:03-5722-4633

御社名 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

参加者氏名(複数名でも結構です) \_\_\_\_\_

E-mail(複数参加の場合は代表者の方) \_\_\_\_\_